

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		天竜区
	04	03	04	

分野	基本政策
環境・くらし	地域コミュニティの充実

将来の理想の姿(2044年)

脱炭素や資源循環の取組が進み、豊かな自然が守られ、市民主体のまちづくりが進んでいる。

10年後(2034年)の理想の姿

誰もが分けへだてなく、地域コミュニティの中で活躍し、市民、市民活動団体、事業者、市が協働してまちづくりを行っている。
地域防犯活動により安全な地域づくりが進み、市民が安心して暮らすことができるまちが実現している。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活環境の良好度	あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか。	3.31	3.30				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
01	01	市民が地域やコミュニティの一員として活躍できる社会の実現	地区コミュニティ協議会事業
		区協議会運営事業	天竜区区振興課
		市民提案による住みよい地域づくり助成事業(補助金)	天竜区区振興課
		区民活動・文化振興事業	天竜区区振興課
		区課題解決事業	天竜区区振興課
		協働センター等を核とした地域課題解決事業	天竜区区振興課
		行政連絡事業	天竜区区振興課
		自治会集会所整備費助成事業(補助金)	天竜区区振興課
		防犯灯設置維持管理助成事業(補助金)	天竜区区振興課
		原材料支給事業	天竜区区振興課
		鹿島花火大会開催事業(負担金)	天竜区区振興課
		天竜区交流促進事業(負担金)	天竜区区振興課
		森林のまち童話大賞事業	天竜区区振興課
		天竜区駅伝大会事業(負担金)	天竜区区振興課
		ローカルコープ構想推進事業	天竜区区振興課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・ 2025～2034年度の区政運営方針の将来像(キャッチフレーズ)を「森林(もり)と人を紡ぎ 明日へつなげる天竜区」とし、10年後の目指す姿「受け継ぐ伝統 創り出す未来 心身ともに満たされるまち」の実現に向け、3つの基本方針を掲げ、今年度から新たにスタートする「第3次浜松市中山間地域振興計画」と連動し、継承と創造・心身ともに満たされるまちを目指します。
- ・ 基本方針①「安全安心、快適に暮らせるまちづくり」に向け、中山間地域特有の課題に対応し、天竜区に暮らす市民が安全で快適に暮らせる環境と行政サービスを提供することで、住みやすいまちづくりを目指します。
主な事業として
自主防災組織支援事業、地域の公共交通事業、(地域子育て支援拠点事業・保育ママ事業)、(高齢者が元気で自立して暮らせるための事業)など。(括弧内は、福祉事業所や健康づくりセンター事業)
- ・ 基本方針②「コミュニティの連携による地域力向上、区の魅力・情報発信」に向け、天竜区の象徴的な資源である「森林」を活用するなど、魅力や価値を効果的に発信することで、地域コミュニティの連携を強化するとともに、住民同士のつながりを深め、地域の活性化を図ります。
主な事業として
新「天竜区」魅力発信プロジェクトによる天竜川・浜名湖地域合併20周年記念事業の天竜区企画、森林のまち童話大賞事業、ローカルコープ構想推進事業、天竜区地域コミュニティ活動に係る原材料支給事業など。
- ・ 基本方針③「資源を活用し、調和と心の豊かさを大切にするまちづくり」に向け、天竜区の豊かな自然環境や歴史・文化を地域資源として活用し、地域活性化につなげます。
主な事業として
「全国に誇るボートのまち天竜」推進事業、文化財等整備事業、ゼミ・研究室等地域貢献推進事業(静岡文化芸術大学(二本松ゼミ))など。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- 基本方針①「安全安心、快適に暮らせるまちづくり」に向け、中山間地域特有の課題に対応し、天竜区に暮らす市民が安全で快適に暮らせる環境と行政サービスの提供を推進した。
自主防災組織支援事業では、72の自主防災隊に対して防災資機材や防災倉庫整備等の支援を行ったほか、水窪地区において災害対応能力向上に向けた避難所運営訓練を実施するなど、自主防災意識の高揚と防災力の強化を図った。引き続き自主防災隊への支援や避難所運営訓練、孤立予想集落への備蓄品配備などにより防災力の向上を図っていく。
地域の公共交通事業では、「地域が主役となって育てる、持続可能な公共交通」を目指し、40路線の地域バスを運行するとともに、運行便数の維持を図るため、積極的な呼び掛けにより利用促進を図った。地域バスは2年毎に運行の改善を図ることとしており、引き続き地域要望に配慮した持続可能な運行に努めていく。
高齢者が元気で自立して暮らせるための事業では、望ましい生活習慣や歯科保健の普及啓発・健康教育・健康相談、集団がん健診などを実施し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう介護予防の推進を図った。引き続き、健康づくりの充実を図り、高齢者が元気で自立して暮らせるよう介護予防活動を推進していく。
- 基本方針②「コミュニティの連携による地域力向上、区の魅力・情報発信」に向け、天竜区の象徴的な資源である「森林」を活用するなど、魅力や価値を効果的に発信し、地域コミュニティの連携を強化するとともに、住民同士のつながりを深め、地域の活性化を図った。
天竜川・浜名湖地域合併20周年記念事業における県立天竜高等学校でのトークイベントや、天竜区写真旅での広報活動のほか、森林のまち童話大賞事業の表彰式やミュージカル公演、童話本の発行等により区の魅力発信を積極的に行った。区外、市外への情報発信が重要であるため、インスタグラムの活用や区外でのイベント開催など、引き続き区の魅力を発信していく。
ローカルコープ構想推進事業では、今後の水窪地区における取組の方向性を示すグランドデザイン、「天竜川流域まかしよう宣言」を昨年11月に策定し、本年3月には「一般社団法人Local Coop水窪」を設立した。引き続きグランドデザインを具現化する事業を立ち上げ、地域住民が主体となり、行政・民間と連携する仕組みづくりに取り組んでいく。
原材料支給事業では、2025年度から新たに地域が利活用する設備の補修等に関する材料を支給対象に加え、9自治会に対して支給を行った。今後も引き続き制度の周知を図り、市民の生活環境の向上を図っていく。
- 基本方針③「資源を活用し、調和と心の豊かさを大切にするまちづくり」に向け、天竜区の豊かな自然環境や歴史・文化を地域資源として活用し、地域活性化につなげた。
「全国に誇るボートのまち天竜」推進事業では、第37回全国高等学校選抜ローイング大会を本年3月に開催し、全国から144クルーが出場した。また、護岸下部が損傷した天竜ボート場第1・第2配艇場の護岸改修整備は2026年度の完成に向けて事業を進めている。引き続き、環境整備を行い大会の存続を図り、「全国に誇るボートのまち天竜」を目指していく。
文化財等整備事業では、国指定史跡「二俣城跡及び鳥羽山城跡」の植生整備や国登録有形文化財「旧田代家住宅」の建造物耐震対策及び改修等工事に向けた基本設計業務を実施し、城跡からの眺望の改善や文化財の適正な保存に努めた。引き続き史跡や文化財の環境整備等を実施し、地域の歴史文化の魅力発信及び地域住民や観光客の交流の場としての活用を図っていく。
ゼミ・研究室等地域貢献推進事業(静岡文化芸術大学(二本松ゼミ))では、静岡文化芸術大学伝承文学ゼミが、佐久間町(城西・山香地区)において、民間口承文化財の採録調査を基に地域に伝わる伝説や家庭に受け継がれる昔話を書籍化し、無形文化財の保存継承や大学生と地域住民の交流による地域の魅力再発見と活力向上が図られた。引き続き佐久間町(佐久間・浦川[川合・神妻]地区)や佐久間町(浦川地区)において採録調査を実施し、無形文化財の保存継承を図っていく。